



今月のよどじんは、
今年度淀川区で実施する英語交流事業の業務を担う
NPO法人グラスルーツより、代表の池亀葉子さんに登場いただきました。
英語学習に対する熱い思い、
淀川区での展望などお話を伺いました。



「NPO法人グラスルーツ」

理事長の

池亀葉子さん

がめら先生!? こと池亀葉子先生

1991年より児童英語講師。幼児から中学生の生徒に、想像力を使い、英語の「音と友達、文字と友達、文法と友達」になる指導を実践している。
こども英語落語協会の会長も務め「がめら亭がめら子」としても活躍中。

英語の先生になったキッカケは?

私が大手子ども向け英語スクールの講師となったのはバブル末期の頃でした。「グローバルな時代がやってくる」「英語ぐらいできないと」という声があちこちから聞こえてきて、子ども向けの英語教室がどんどん増えていました。

きっかけは、高校生の時に初めて海外に行き「これまで学校の授業で学んだ事は役に立っているのかな」と子ども心に疑問を抱いたことでした。そして民間の英語教育に関心を持ち、英語講師となりました。

「小さい頃から英語にたくさん触れていれば、自然に話せるようになる」「文法や読み書きを教え込むのではなく、楽しく遊びながら英語と接する事が大事だ」。このような内容の研修を受けて講師になり、たくさんのクラスを引き継ぐことになりました。小さな頃から英語に触れている子ども達は、さぞかし英語ができるのだろうとワクワクしていましたが、実態は違っていました。その多くは「カタカナのような発音」「英文の真似や丸暗記は出来ても、自分では作れない」という状況でした。

「話す」ためには、言葉の仕組みと音声の仕組みを知り、それを「使える」ように訓練することが必要です。英語の決ま



▲よく出来ました、ハイタッチ!!

り文句を真似して丸ごと「覚えて」も、本当の力にはなりません。こうした「自然に楽しく」方式の児童英語教育のあり方に疑問を持ち、それを探求する会「グラスルーツ」を作りました。



先生の考える英語教育とは?

1. **ことばの基礎力**…「ことばの基礎力」は母語で形成されます。そのため日本語の力を育成します。
2. **音声の基礎力**…日本語と英語の差はとても大きいので、その壁を乗り越えるための訓練が必要です。
3. **人とコミュニケーションする力**…人と接する機会をもっとたくさん増やしてあげることが必要です。
4. **失敗や間違いを恐れない心**…多くの子ども達は、間違いを恐れ、成長の機会を逃しています。
5. **自分の意見を持つ**…まず、日本語で「考える」「アイデアを出す」「意見を言う」訓練を行います。
6. **自己表現の力**…「ことばの力」がいたら、そのことばで「表現する力」を育成します。
7. **他者を理解する力**…愛された子どもは、人を愛するようになります。



▲じゃあ、これは分かるかな?

8. **論理的に物事を考える力**…日本人とは違う価値観を持った人との共通言語は、論理的思考です。
9. **想像力**…優しい人になるためにも、強い人になるためにも、勉強ができるようになるためにも想像力が必要です。
10. **好奇心**…人は本来好奇心のかたまりです。それを阻害するものは大人たちの「すぐに成果を求める態度」です。

『ことば』 英語は